

# 厚生財団

財団法人 新潟県教職員厚生財団 TEL.025(228)3581  
 〒951-8516 新潟市中央区東中通1-86-73 FAX.025(224)8830  
 URL <http://www.koseizaidan.or.jp>  
 E-mail [info@koseizaidan.or.jp](mailto:info@koseizaidan.or.jp)

## KOSEIZ Aidan

### 新潟県の文化財シリーズ

見附市新潟町の小栗山不動院に約350年前から伝わる「小栗山の獅子舞」です。天和の頃、仏道が衰退し、人心も荒廃したため、時の住職が観音に願をかけたところ現れた舞とされています。演目は大きく、三人一組で舞う風流獅子と獅子神楽があり、三匹獅子、神楽、翁（山の神）、弓持ちが役割に応じ登場し、笛と太鼓で囃子を奏でます。



こぐりやま ししまい  
**小栗山の獅子舞** 見附市指定文化財

(写真は、小栗山獅子舞保存会の指導を受けて舞う新潟小学校児童。第12回全国こども民俗芸能大会出演から)



理事長 小林 幹雄

明けましておめでとうございます。団員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

内外の厳しい経済状況の中で、本年も当財団は引き続き財務基盤の強化を図っていく必要があると考えています。そのために、これまでも増して慎重かつ堅実で着実な投資活動を心がけるとともに事業の支出などの工夫を重ね、収支バランスの健全化を図る運営努力で、この時節を乗り越えて行く所存であります。

さて、新年にあたり、当財団の3つの課題であります公益法人制度改革への対応、創立百周年記念事業実施に向けた取組、財団社屋新築について、役職員一同、気持ちを新たにして取り組んでまいります。

公益法人制度改革では、当財団の法人形態を一般財団法人に移行するための諸準備を確実に進めていきます。そして、一般財団法人へ移行しても、これまでと同様に当財団の設立趣旨であります「相互扶助による更なる福利厚生の実現」を一層大切に、団員の期待・信頼に応えられる新潟県教職員厚生財団を目指す決意です。

創立百周年記念事業実施に向けた取組では、記念事業計画細案によって具体的な事業等の準備活動を進めてまいります。また、財団百年史の編纂については、編纂計画に基づいて執筆活動を軌道に乗せ、編纂室を中心にしながら平成25年の刊行を目指してまいります。

財団社屋の現在地新築については、新潟市中心部という素晴らしい立地条件を生かして、地震や火災に対し安全かつ安心な社屋をつくりたい。予定といたしましては平成27年秋に着工、平成28年秋の竣工に向けた諸準備を着実に進めてまいります。

このような3つの大きな課題に同時に立ち向かうことは、財団100年の歴史の中でもなかったことと思います。こうした場面にめぐりあえたことに感謝しつつ、これら3つの大きな取り組みに気概を持って邁進していく覚悟です。団員の皆様には一層の関心と、ご支援をいただきたいと考えております。

卯年の年頭の挨拶といたします。

写真提供・文 見附市立新潟小学校長 島田 敏夫 様  
 資料提供 見附市立見附小学校長 長谷川 清 様

## 新法人へ向けた今後の取組

～法人制度検討委員会の検討が終了。理事会へ答申します～



昨年度から始まった法人制度検討委員会です。本年度は、予定通り7月と11月の2回の検討委員会を開催し、当初の計画通り2年間にわたって合計4回の検討会議を終了いたしました。これまで4回にわたって検討いただいたことは、次のことなどです。

- (1) 公益財団法人か一般財団法人への移行かどちらを選択するかについて
- (2) 公益財産額及び公益目的支出計画をどのような考え方で作成するかについて
- (3) 移行に伴う新しい法の規制にどのように対応するかについて
- (4) 移行に伴う定款の策定及び規定等の見直しについて
- (5) 移行申請時期の確定と諸手続きなどについてのスケジュールについて

その結果、既に平成22年5月の理事会・評議員会で「一般財団法人への移行認可申請」を目指して諸準備を進めていくことを認めていただいております。

今後は、上記(1)～(5)の検討結果を平成23年1月の理事会へ「答申」を行うとともに、検討いただいた定款などの策定を進めていくこととなります。そして、併せて専門家や認定委員会の指導を受けたり協議を行ったりしながら、評議員会にお諮りしていきます。また、諸準備の推進にあたっては、定めていただいたスケジュールに基づいて諸準備を進めていかなければならないと考えています。

更に平成23年度は、「最初の評議員の選任方法」及び「評議員選定委員会規則」を定める等、これまでなかったことについても、その具体的な準備を進めていかなければならない年に当たっています。

## 新潟県教職員厚生財団「創立百周年記念事業」の準備状況について



平成22年度は、全体計画の細案、各専門部計画の細案を作成することと、新規事業の創設に着手することを目的に、6月と11月に実行委員会を行いました。平成23年度から、計画の細案に沿って、本格的な準備に入ります。

### 全体計画の細案作成と各専門部計画の細案作成

全体計画の細案作成では、記念事業実施のテーマ「財団の新たな一世紀を創る」を踏まえて、5つの記念事業の具体的な内容を検討してまいりました。たとえば、記念式典では、臨時来賓や祝辞をいただく来賓をはじめ、式典次第の内容などです。また、全団員への記念品贈呈では、現職団員と継続団員と記念品は同じくするか異なったものにするかを含めた具体的な記念品案です。さらに、鑑賞・観戦活動助成については、鑑賞・観戦する公演やスポーツの種類はもとより、確保するチケット数や鑑賞・観戦活動助成を実施する年度などです。

各専門部計画の細案作成では、それぞれの記念事業を実施する場合に必要な準備業務を想定して、それら業務はいつから準備を始めて、いつまでに完了させるかを明確にした細案を作ることにしています。

### 新規事業の創設

皆様から期待していただける財団を広くPRできる新規事業を創設したいと考えて、実行委員会で検討を重ねてきました。なお、この新規事業の創設では、全団員が財団について深く考え合い、財団との結びつきを一層強める機会にもしたいと考えます。そこで、アンケートによって皆様の意向をお聞きし、新規事業を創設する際の参考にするにも検討しています。

### 財団百年史の刊行に向けて

財団百年史刊行の目的に照らして、各章の内容構成を中心に平成22年度は3回の編纂委員会を開催しました。執筆者による原稿執筆も始まり、次年度以降、刊行に向けての取り組みにいよいよ拍車をかけていく予定です。

お知らせ  
と  
お願い

## 年度末に向けてお忙しいところ ご協力をよろしくお願ひいたします

### ■ ■ 監査法人による積立金・貸付金の残高確認 ■ ■

厚生財団が委託する監査法人が毎年行う調査で、団員の中から抽出して選ばれた方にご自身の各種残高を確認していただきます。

**【実施(回答)先】** 新日本有限責任監査法人

**【対 象 者】** 現職団員及び継続団員の中から無作為に抽出  
(前年度対象 約200人)

**【実 施 時 期】** 2月中旬

#### 回答までの流れ

- 1 対象者へ依頼文書と回答用紙(2部)を監査法人から2月中旬に送付
- 2 回答用紙に記載されている明細が12月と1月分の「払込金・残高明細書」と相違がないかを確認
- 3 回答用紙に必要事項を記入と押印をして監査法人へ回答用紙を2部とも返送

！ 残高を確認する際には、12月分と1月分の「払込金・残高明細書(メールシーラー)」が必要となりますので、大切に保管しておいてください。

この調査によって得られる回答は監査法人が決算のときに財務諸表を確認するための客観的な資料として使用します。

### ■ ■ 給料月額と積立月額の報告 ■ ■

現職団員の1月時の給料月額に伴う積立月額の確認と変更のために毎年実施しています。

**【対 象 者】** 現職団員

**【手続き方法】** 積立金明細書に1月時点の給料月額と3月から希望する積立月額(規定額以上)を記入して、各所属の厚生財団係様へ提出してください。

**【提出期限】** 厚生財団係様へ 平成23年 2月 7日(月)  
(財団への到着 平成23年 2月14日(月))

#### ◆積立月額について

積立月額が規定額を下回るときは、自動的に積立月額を規定額に変更させていただきます。

#### ◆規定額の求め方

給料月額 [教職調整額・調整額を含む]  $\times \frac{1}{100}$  [100円未満は100円に切上げ] + 800円

！ 団員個人へ手続きしていただく『積立金明細書』をお送りしました。



# 「新潟県民のための教育・文化活動」助成事業

## I. 助成一覧

団体助成 (団体名)	妙 高	新潟県社会科教育研究会 秋季研究発表会	イ. サークル活動
新潟県小学校長会	五 泉	五泉市小学校音楽交歓会	新潟中央 財団法人 新潟教育会
新潟市小学校長会	佐 渡	佐渡市小学校音楽発表会	新潟中央 第一美術協会新潟県支部
新潟県中学校長会	魚 沼	魚沼市・川口町教育振興会 「教育講演会」	新潟中央 音楽研修サークル
新潟市中学校長会			新潟江南 新潟県青少年赤十字賛助奉仕団
新潟県小中学校教頭会	南魚沼	南魚沼都市 PTA 連絡協議会「講演会」	新潟西 越佐社会科研究会
新潟県高等学校長協会			新潟中学校 下越生徒指導研究協議会
新潟県小学校教育研究会	中魚沼	津南町小学校ミニコンサート	長 岡 長岡体育サークル
新潟県中学校教育研究会	高等学校	第24回新潟県高等学校総合文化祭	長 岡 長岡社会科サークル
新潟県高等学校教育研究会	②伝統文化芸術・サークル活動等		長 岡 長岡数学教育を語る会
新潟県特別支援教育研究会	ア. 伝統文化芸術活動		長 岡 音楽を深める会
新潟県特別支援学校長研究会	新潟北	いざや神楽 (岡方第二小学校)	長 岡 新潟県中越美術教育研究会
新潟県家庭科研究会	新潟南	小学校芸能教室 (新飯田小学校)	長 岡 じねんの会
新潟県小学校体育連盟	長 岡	西中野保芸能保存会	長 岡 長岡社会科研究会
新潟県中学校体育連盟	長 岡	しぶみ太鼓 (渋海小学校)	長 岡 道德教育研究サークル「こころ」
新潟県高等学校体育連盟	長 岡	希望太鼓 (希望が丘小学校)	長 岡 中越体育研究会
新潟県養護学校体育連盟	長 岡	川口あおり太鼓 (川口小学校)	長 岡 中越教育相談研究会
新潟県高等学校文化連盟	三 条	三条市児童生徒俳句祭実行委員会	上 越 ぎんなん句会
新潟県学校家庭クラブ連盟	柏崎・刈羽	黒姫山太鼓・四半の弓道 (高柳小学校)	上 越 ECHO (エコー) 会
新潟県公立学校事務主幹会	柏崎・刈羽	綾子舞伝承学習事務局	上 越 上越社会科勉強会
新潟県学校事務研究協議会	柏崎・刈羽	二田小学校伝承舞クラブ	上 越 上越物理・化学同好会
新潟県養護教員研究協議会	柏崎・刈羽	えんま市 (柏崎第一中学校)	上 越 理友会
新潟県NIE推進協議会	柏崎・刈羽	俳句 (半田小学校)	上 越 新潟県小学校生活科・総合的な学習研究会
新潟県同和教育研究協議会	柏崎・刈羽	潮風太鼓 (柏崎小学校)	上 越 上越キャリア教育研究会
新潟県教職員組合	新発田	安兵衛太鼓 (猿橋小学校)	上 越 直江津地区退職教職員の会
新潟県公立学校退職校長会	新発田	安兵衛太鼓 (御免町小学校)	上 越 男声合唱団 J
<b>事業助成 (事業名)</b>	新発田	安兵衛太鼓 (二葉小学校)	上 越 合唱団コールスプリング
<b>(1) 特別事業助成</b>	新発田	菅谷小唄 (菅谷小学校)	上 越 上越リコーダー教育研究会
平成22年度関東甲信越地区盲学校長会 秋季研究協議会	新発田	豊浦音頭 (中浦小学校)	上 越 「サイエンスカフェ上越」の会
第47回北信越盲学校バレーボール大会	新発田	干拓太鼓 (紫雲寺小学校)	三 条 心と学びの相談・支援センター
第7回北信越高等学校選抜放送大会	小千谷	小千谷豊年獅子舞保存会	柏崎・刈羽 柏崎刈羽音楽教師の会
第18回新潟県同和教育研究集会	小千谷	巫女爺踊り (片貝小学校)	柏崎・刈羽 柏崎刈羽社会科授業を考える会
第6回新潟県中学校体育連盟研究大会	加 茂	青海太鼓 (加茂小学校)	新発田 北新体育学習研究会
第92回全国算数・数学教育研究 (新潟) 大会	十日町	新保広大寺節 (下条中学校)	新発田 国語の会
第47回全国国語科教育研究大会新潟大会	見 附	越後見附太鼓・椿澤の稚児舞 (田井小学校)	見 附 中越国語教育研究会
<b>(2) 普通事業助成 (支部/事業名)</b>	村上・岩船	大須戸能保存会	見 附 行動コンサルテーション研究会
<b>① 支部単位助成事業</b>	村上・岩船	わかあゆ三面太鼓 (三面小学校)	村上・岩船 学級づくりの会
新潟秋葉 秋葉区小学校ふれあい音楽会	燕	島上ヲミワケ太鼓 (島上小学校)	燕 新潟県特別支援学校音楽教育研究会
長 岡 長岡市三島郡学校教育研究 協議会	糸魚川	根知山寺延年保存会	燕 西蒲・燕社会科を語る会
	阿賀野	たるばやし保存会	妙 高 妙高生活科・理科教育ネットワーク
上 越 上越市校長会教育講演会	南魚沼	後山蕎麦技術継承 (後山小学校)	五 泉 村松? (はてな) クラブ
三 条 ふるさと絵画コンクール	南魚沼	大崎小学校地域伝統クラブ	五 泉 夢現の会
新発田 新発田市小・中学校幼稚園 合同講演会	南魚沼	華道・茶道・大正琴 (塩沢中学校)	魚 沼 五泉市若手研究会
	南魚沼	お神楽笛 (第一上田小学校)	魚 沼 魚沼特別支援教育サークル
加 茂 加茂市学校教育研究協議会 夏季研修教育講演会	南魚沼	六日町寄せ太鼓 (城内小学校)	南魚沼 理科サークル「巻機」
	南魚沼	御実城太鼓 (六日町中学校)	南魚沼 学級づくりサークル
十日町 十日町市津南町小中学校 PTA 研究集会	南魚沼	龜神太鼓育成会	南魚沼 魚の川 国語教育研究会
	中魚沼	環境教育・伝統文化 (新穂中学校)	南魚沼 南魚沼社会科サークル
見 附 見附市学校教育研究協議会 夏季研修講座	佐 渡	佐渡郷土芸能保存会なごさ会	南魚沼 特別支援教育を考える会
	佐 渡	クロ子鬼太鼓・大獅子保存会	南魚沼 南魚体育・健康教育サークル
燕 燕市西蒲原郡小学校教育研究会 「教育講演会」	高等学校	能楽 (佐渡中等教育学校)	南魚沼 音楽教育サークル「南魚ハーモニー」
	胎 内		南魚沼 KOO (クー) ネット
			胎 内 新潟県特別活動研究会

厚生財団では新潟県民のための教育・文化活動への支援として、県内の教育振興団体や一般の地域住民、子どもたちが参加する事業などに助成を行っています。今年度これまでに助成した団体及び事業をお知らせいたします。

## II. 助成内訳

- 1. 団体助成 ..... 25団体 **745万円**
- 2. 特別事業助成 ..... 7事業 **65万円**
- 3. 普通事業助成
  - ①財団が後援又は財団支部が主催・共催・後援する事業 ..... 16事業 **160万円**
  - ②伝統文化芸術・サークル活動等 ..... 92団体 **448万円**
- ◇ 協 賛 ◇ ..... **100万円**

いじめ根絶にいがた県民会議 平成22年度「深めよう 絆 県民運動」

総額 **1,518万円**

### — 伝統文化芸術・サークル活動等 —

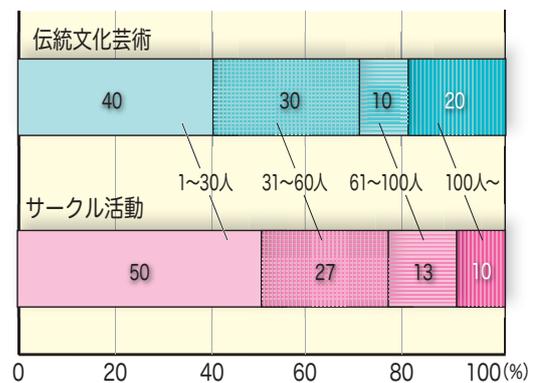
平成20年度に新設（平成21年度名称変更）して以来、多くの団体からご利用をいただいている「伝統文化芸術・サークル活動等」の今年度の利用団体をまとめてみました。

#### 1. 助成団体地域別件数

(計92件)



#### 2. 団体構成員の人数群別割合



#### 【活動紹介】

南魚沼市  
城内小学校（六日町寄せ太鼓）  
音楽発表会や地区商工祭での披露



佐渡市  
クロ子鬼太鼓・大獅子保存会  
集落の祭りでの披露



五泉市  
村松？（はてな）クラブ  
自然体験講座の実施



# 年度末に退職される皆様へ

## 払戻手続きのお知らせ

年度末に退職される方は必ず、**厚生資金積立金の払戻し手続き**をお願いいたします。  
また、継続団員を希望される方は、同時に**継続団員申込**の手続きが必要となります。

**提出書類** 「厚生資金積立金払戻請求書（兼継続団員申込書）」  
**提出期限** **平成23年3月31日(木)** 厳守

※2月に各所属所へ、所定の書式とご案内をお送りいたします。  
(書式は厚生財団のホームページからもダウンロードできます。)

### 手続きの流れ

年度末に退職する全団員

「厚生資金積立金払戻請求書（兼継続団員申込書）」を記入してご提出ください

申し込む

継続団員への加入を申込みされますか？  
(下記の**継続団員制度のお知らせ**をご覧ください)

申し込まない

上記書類の「**継続団員申込書**」欄に、継続団員積立金の金額を記入してご提出ください (入団時に130万円以上)

**積立金を払戻します！**

## 継続団員制度のお知らせ

～退職後も希望される方は、  
継続して団員になることができます～

### 加入資格

- ①在団期間が25年以上の方
- ②退職後も新潟県内に在住される方  
もしくは、現職時に隣接県から通勤勤務をしていた方

### 継続団員積立金

入団時に130万円以上を積み立てていただきます。毎月の積立はありません。

### 特典

- ①普通厚生費と特別厚生費(病気見舞金等)の贈与
- ②積立金範囲内での貸付(生活資金のみ)
- ③継続団員連絡会へのご招待(往復交通費支給)
- ④総合健診(人間ドック)受診の補助と斡旋
- ⑤教職員手帳(ポケット版)の贈呈

◇加入状況 / 3,442名 (12月末現在)

◇22年度新規加入者 / 229名

## 積立金の払戻しについて

現職時に毎月積立していただいた厚生資金積立金を、払戻請求書のご指定口座へ振り込みます。  
払戻金額の通知書は、平成23年4月20日頃にご本人宛へお送りします。

☆ **厚生資金積立金払戻金の送金日** ☆  
**平成23年4月28日(木)**

～ご留意ください～

**継続団員積立金** 継続団員を希望した場合は、継続団員積立金(130万円以上)を厚生資金積立金から振替入金し、残額を払戻します。

**貸付金の清算** 各種貸付金の残金は、厚生資金積立金から差引清算をします。

**保険料のお預かり** ご加入の三井生命保険は、移行期のため4月分の保険料を厚生資金積立金からお預かりして三井生命に支払います。

※不足金が生じた場合は、不足金額をご本人に通知しますので一括にてお払い込みください。

## ■三井生命保険の取扱い■ (5月以降は継続団員に加入するか、加入されないかによって取扱いが異なります。)

### 三井生命普通保険

#### 継続団員に加入の方

- ・団体扱いで満期まで継続できます。
- ・保険料は登録口座から振替えます。(賞与払い除く)

#### 継続団員に加入されない方

- ・個人扱いに変わります。  
(今後の手続きについては三井生命より連絡があります。)

### 教職員年金制度

#### 継続団員に加入の方

- ・満60歳まで継続できます。(賞与払い除く)

#### 継続団員に加入されない方

- ・掛金の支払いは継続できません。今まで積み立ててきた掛金を一時金もしくは年金でお受け取りいただけます。  
(詳細については、三井生命より連絡があります。)

## 【退職者への特別厚生費の贈与】

**【永年団員祝金】** 1万円～6万円 平成8年度までの入団者は経過期間の合計分を一括して退職時に贈与  
送金口座は、払戻請求書の受取金融機関と同一

在団年数	10年以上	10,000円	20年以上	20,000円	25年以上	30,000円
	30年以上	40,000円	35年以上	50,000円	40年以上	60,000円

ただし、平成9年度からの入団者は現職時に各在団年数で1万円ずつ贈与されるため、退職時には贈与されません。

**【結婚祝金】** 5万円 退団後3か月以内に結婚（入籍）されたときに贈与  
（本人から請求） また、ご両人が団員であれば、それぞれの方からご請求いただけます

## 【退職を祝う会への招待】

平成22年度末に退職された方で、在団年数25年以上の方が対象です。毎年多くの方々が出席されていますので、お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。

地区	開催日	会場	平成22年度実績	
			参加者数	出席率
上越地区	6月9日(木)	や す ね	33(人)	47.1(%)
中越地区	6月16日(木)	長岡グランドホテル	65	41.9
下越地区	6月23日(木)	ホテルイタリア軒	101	40.4

## 財団貸付金 Q & A

**Q1:** 貸付金を借入れるとき、どれくらいの期間で口座に振り込まれますか？

**A1:** 書類を郵送されてから入金するまで、2～4日位を目安としてお考えください。

厚生財団では随時受付け、即送金を心がけて、書類の届いた翌日には口座に入金するように事務処理を進めています。しかしながら、お申込みの時期や状況などによっては遅れることも考えられますので、お申込みは余裕を持ってお願いします。

\* \* \* \* \*

**Q2:** 現在、貸付金を利用中ですが新たに申し込みはできますか？

**A2:** できます。

貸付金の種類ごとにそれぞれ限度額を設けています。同じ種類の貸付金では限度額の範囲内で口数の制限無くご利用いただくことができます。例えば生活資金で既に借りられている現在の残高が75万であれば、限度額である200万円から差し引いた125万円まで新たにお申込みができます。また、現在返済中の貸付金が2年以上経過していると借換えでのお申込みも可能です。

\* \* \* \* \*

**Q3:** 返済の途中で残金を全額返済したいけど、どうすればいいですか？

**A3:** 残金の全額をまとめて返済（一括返済）するときは、振り込みと併せて厚生財団へご連絡をお願いします。

厚生財団からお送りする払込金・残高明細書の「今月末の残高」の金額を、所属にお配りしている振込用紙を使ってお振込みください。その後、確認のためにお名前、所属、職員コードと一括返済の旨を厚生財団へお知らせください。明細書の当該する月末までのお振込みで、翌月からの請求をお止めます。



# ■事業報告■ 継続団員連絡会

県内4つの地区に分かれて平成22年度の継続団員連絡会を開催しました。どの会場でも多くの方々からご参加いただき、盛大のうちに終わることができました。

●懇親会では団員間で親睦を深めていただきました



●ご参加いただいた継続団員の皆様に感謝申し上げます

地区名	開催日	参加者数
上越地区	9/2	202人
中越地区	9/9	387人
下越地区	9/17	447人
佐渡市区	10/1	66人
合計		1,102人

## 県立高校の団員の皆様へ

### 『払込金・残高明細書』個人送付の試行開始について (総務事務システム対応)

～お送りした明細書の到着を確認してください～

広報紙でも前号、前々号と続けてお知らせしてきました「払込金・残高明細書(メールシーラー)」の個人送付を今月から試行開始しました。今後は皆様からご登録いただいた個人住所へお届けしていきます。明細書の発送を毎月上旬に予定して1月分をすでに郵送しましたので、ご自身の明細書が届いているか確認をお願いします。記載住所に誤りがありましたら、お手数ですが厚生財団までご連絡ください。

注意：「払込金・残高明細書」以外の送付物はこれまでどおり所属所にお送ります。

～お送りしました手帳を  
ご活用ください～

## 2011年版 教職員手帳

現職団員の方には手帳(ポケット版)とダイアリー(B5版)のどちらか希望したものを、継続団員の方には手帳を昨年暮れにお届けしました。

現職団員への贈呈は希望登録制です。来年以降の登録内容の変更は、それぞれの品目に刷り込みの「教職員手帳登録票」でFAXにて9月末日までにご連絡ください。

# 謹賀新年 今年もよろしく お願いします

あなたの人生を一生涯にわたってサポートする保険です。



こたえる保険

# ベクトル X



三井生命

厚生財団員皆様のご要望におこたえし、団員様おひとりおひとりの生活設計のお手伝いをさせていただきます。弊社の担当職員がご訪問させていただいた折には、お気軽にお声をお掛けください。



新潟支社 〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通1-3-10 三井生命ビル8F  
TEL 025-243-6877 D-22-2116(H22.12) 使用期限H23.1